

# 新卒でも副業はすべき？おすすめの副業と注意すべき点を徹底解説

現在、本業に合わせて副業で稼いでいる人は珍しくありません。中には、新卒の人でも将来のことを考え、副業にチャレンジしようと考えている人もいないでしょうか。

しかし、新卒で副業をしていいのか、新卒に向いている副業や注意点など気になるポイントはいくつもあります。

そこで本記事では、**新卒で副業をしても問題ないのかという点をはじめ、おすすめの副業や注意点について解説**します。

新卒の人で副業を考えているのであれば、ぜひ本記事を参考に検討してみてください。

## <h2>副業に関するルールは企業ごとに異なる</h2>

まず、1番気になるのは、新卒は副業をしていいのかという点でしょう。結論から伝えますと、**企業ごとに副業ができるかは異なります。**

企業にはそれぞれ就業規則が定められています。副業に関する決まりも、この就業規則に記載されている場合が多いので、もし自分の会社がOKなのか気になった人は確認してみましょう。

### <h3>全ての企業で副業が認められているわけではない</h3>

現在は副業を推奨している企業も増えています。また、令和4年には副業・兼業に関するガイドラインの改定があるなど、副業がしやすい方向に進んでいます。

しかし、**全部の企業で副業が認められているのかという点とそうではありません。**企業によっては情報漏洩等のリスクを考慮し、副業を禁止しているところも多いです。

副業が推奨されつつもできる環境が整っているわけではないので、副業に踏み切れる人は限られるのが現状です。

### <h3>公務員は副業が不可能な場合が多い</h3>

**公務員の場合は、一般企業で働く人と違い副業が禁止されています。**この点については、公務員を目指す時点で地方公務員法を確認している場合は、認知している人は多いかもしれません。

もし、公務員の人で副業を考えているのであれば、副業が可能な職場への転職も検討してみましょう。

ただし、公務員を続けるメリット・デメリット、転職をするメリット・デメリットについて考え、慎重に結論を出しましょう。

## <h2>新卒で副業をした方がいい理由3つ</h2>

新卒で副業を考えている人の中には、本当にすべきか悩んでいる人もいるでしょう。確かに、新卒のうちは環境や仕事内容に慣れる必要があるため、副業にまで手が回らないかもしれません。

そんな**大変な新卒の人でも、副業を始めるメリットはいくつかあります。**

- 1.多くの経験を積める
- 2.本業以外で人脈を作れる
- 3.収入が多くなる

### <h3>1. 多くの経験を積める</h3>

**本業1つでは得られる経験は限られます。**例えば、経理の仕事をしている場合、部署移動や転職をしない限り、経理以外の仕事を体験する機会はほとんどありません。

しかし、本業に加えて副業をすることで、本業では経験できない仕事に携われます。また、副業では複数のジャンルに挑戦することも可能なので、積める経験の幅も広いです。

昇進や転職の際に、副業で経験したことが活きるケースもありますので、将来のことを考えて挑戦するのも1つの手です。

### <h3>2. 本業以外で人脈を作れる</h3>

副業をすることで、**本業以外でも人脈を作れます。**人脈が増えればもらえる仕事の量が増える可能性に加えて、さまざまな気づきを得られるでしょう。

例えば、仕事のスケジュールの組み方や進め方など、新しい気づきがあるかもしれません。そのような気づきは、本業にもいい結果をもたらします。

人脈を作るイコール仕事に繋がるという考えも正しいですが、本業で関わることのない人たちから学べることはないか、アンテナを張り巡らせておくことも大事です。

### <h3>3. 収入が多くなる</h3>

副業を考えている人の多くは、収入が増えるという点に注目しているのではないのでしょうか。固定給の場合、収入を増やすには給料のいい会社に転職するか副業を始めるかの2択になります。

副業のいいところは、**工夫次第では本業の収入に近い、あるいはそれ以上に稼げることです。**

本業の収入ほどでなくても、月1万円でも稼げれば、昼食代をまかなえたり外食ができたりと、生活も少しは楽になるでしょう。

## <h2>新卒で副業をする際の注意点3つ</h2>

新卒で副業を始めるのは、いいことばかりではありません。いくつか注意点もありますので、始めてから失敗しないためにもあらかじめ下記の内容について把握しておきましょう。

- |                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1.勤務先の規則を事前に把握する</li><li>2.本業に支障が出ないようにする</li><li>3.段階を踏んで仕事の難易度を上げる</li></ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### <h3>1. 勤務先の規則を事前に把握する</h3>

本記事の前半でも解説しましたが、企業にはそれぞれ就業規則があります。就業規則には副業ができるかどうかを含め、さまざまな決まりについて記載されています。

もし、就業規則を破ってしまうと何らかの処罰を受ける可能性があるので注意が必要です。また、副業を始めてから後々禁止であることを知ると、やめるにしてもそれまでの時間が無駄になります。

就職時にも確認しているとは思いますが、副業を始める前に今一度、就業規則を確認しておきましょう。

### <h3>2. 本業に支障が出ないようにする</h3>

本業に加えて副業をするのであれば、本業でのパフォーマンスを低下させないように注意しましょう。1日の中で本業に占める時間が9時間だとすると、副業に充てられる時間も限られます。

もし副業が忙しくなってしまった場合は、最悪睡眠時間を削るしかないでしょう。そのような場合、本業にも集中できず、仕事のパフォーマンスは低下します。

企業は新入社員を雇うために、さまざまなコストをかけます。雇ってもらっている以上、最大限のパフォーマンスで仕事に臨む必要があるため、優先順位を副業1番にするわけにはいきません。

必ず企業の一員であることを頭に入れて、副業に取り組みましょう。

### <h3>3. 段階を踏んで仕事の難易度を上げる</h3>

報酬の高い仕事は難易度が高い傾向にあります。もちろん、難易度の高い仕事をこなすには、それなりに専門知識やスキルを身につけておく必要があるでしょう。

また、初心者の中に難易度の高い仕事を請け負ってしまうと、時間がかかったり、心身の疲弊につながったりします。

注意点の2つ目でも解説しましたが、本業での仕事のパフォーマンスを低下させないためにも、体を休める時間を確保することも重要です。

そのため、仕事の難易度は段階的に上げるようにしましょう。

## <h2>会社に副業がバレる理由3つ</h2>

新入社員を含めて、会社勤めの人が1番気になるのが、副業をしていることが会社にバレないかどうかではないでしょうか。

以下のバレる原因をしっかりと把握し、事前対策を練っておくことでバレるリスクは下げられます。

- |                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1.住民税の増加具合でバレる</li><li>2.パート・アルバイト先でバレる</li><li>3.同僚に副業のことを話してバレる</li></ol> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### <h3>1. 住民税の増加具合でバレる</h3>

1つ目は、住民税が増えたことによってバレる可能性があります。住民税は前年度の収入によって金額が決まります。つまり、副業をして収入が上がってしまうと、支払う住民税の金額も上がってしまうのです。

会社勤めの場合、住民税は給与から天引きされるため、当然企業側も支払う住民税が増えたことに気が付きます。対策としては、副業の確定申告の際に、住民税の納付方法を「普通徴収」にしましょう。

そうすると、自分で住民税を納付するため、住民税の支払額が増加したとは気づけません。

### <h3>2. パート・アルバイト先でバレる</h3>

2つ目は、パートやアルバイト先で会社の人に見られてしまうことです。この点については、見られてしまった時点で副業をしていることがバレてしまいます。

また、パートやアルバイトの場合、労働時間や稼ぐ額によって社会保険に加入する必要があり、会社に送られる通知書によって副業がバレます。

この2点を解決する策としては、個人事業主となり在宅でできる仕事を選びましょう。個人事業主となれば社会保険が適用されません。

その点に加えて、在宅であれば働いているところを職場の人に見られることもないため、副業していることはバレないです。

### <h3>3. 同僚に副業のことを話してバレる</h3>

3つ目は、自ら副業のことを会社の人に話してしまうことです。自分が忙しかったり副業の調子が良かったりするときに、うっかり周りの人に話してしまわないように注意する必要があります。

また、稼げるようになってからの振る舞いにも注意が必要です。身に着けるものや生活水準が上がったなど、少しの変化で勘付かれてしまう可能性もあります。

副業で上手く行っても、副業を始める前と変わらないよう過ごすことが重要です。

## <h2>副業を選ぶ際のポイント3つ</h2>

副業を選ぶ際は、なんでもいいわけではありません。人それぞれ合う合わないがありますので、自分に向いているのか判断する必要があります。

もちろん、一発で見つけられない場合もありますので、いくつか試してみる必要はあるでしょう。もし、どのような副業が向いているのかわからない場合は、以下の3つのポイントを参考に探してみてください。

- 1.同僚にバレない副業にする
- 2.役に立つスキルを得られる副業にする
- 3.自分が挑戦したい分野の副業にする

### <h3>1. 同僚にバレない副業にする</h3>

まずは、会社の人にバレにくい仕事を選ぶことです。就業規則で副業ができるのであれば、どのような仕事でも問題ありません。

しかし、中には就業規則で副業が禁止されていなくても、よく思っていない人も周りにもいる可能性があります。

そのため、できるだけ会社の人に副業をしていることがバレない仕事を選ぶようにしましょう。例えば、在宅でできる仕事であれば、自らバラさない限り知られる可能性は低いでしょう。

### <h3>2. 役に立つスキルを得られる副業にする</h3>

次に、この先何か役に立つスキルを身につけられそうな副業を選びましょう。せっかく貴重な時間を使って副業をするのであれば、今後のキャリアに活かせるようなものの方がいいでしょう。

例えば、文章作成のスキルを磨きつつお金を稼ぎたいのであれば、Webライターなどを選択するのがおすすめです。

### <h3>3. 自分が挑戦したい分野の副業にする</h3>

最後のポイントは、自分が挑戦したい副業を選ぶことです。副業は簡単に稼げるわけではない上に、自分にあったものを探すのが難しいです。そのため、長続きせず挫折してしまう人も多いでしょう。

少しでも自分が興味のあるものに挑戦する方が、長続きする可能性もあります。もちろん、それでも稼げない可能性も多いにあるため、ある程度我慢して取り組む必要はあるでしょう。

## <h2>おすすめの副業3つ</h2>

最後に、ここまでの解説をもとにおすすめの副業を3つ紹介します。ただし、1回で自分にあっている副業を見つけるのは難しいです。

自分にあっていないと思った場合は以下のものも含め、いくつか試してみましょう。

- 1.Webライター
- 2.動画編集者
- 3.プログラミング

### <h3>1.Webライター</h3>

Webライターは、**Web上でコンテンツを制作する仕事**のことです。主な仕事内容は文章を書くことですが、その形式や目的は様々です。

例えば、サイトに掲載する記事作成を担当したり商品説明の文章作成を担当したりします。また、Webライターの仕事の幅を広げると、YouTubeの台本作成やメルマガ作成などもできます。

サイトに掲載する記事作成に慣れれば自分自身でブログを作成し、広告収入を得ることも可能です。このように、**Webライター**のスキルを磨けば、さまざまなフィールドで活躍できます。

### <h3>2.動画編集者</h3>

動画編集者は、**主に映像素材を組み合わせ、編集して動画コンテンツを制作する仕事**です。例えば、YouTubeの動画編集を担当したり、結婚式のムービー作成をしたりする仕事があります。

動画編集は、スキルを身につけるのに時間がかかるものの、**動画コンテンツが主流になっている今、需要が高まっているため挑戦する価値は十分にある**でしょう。

快適に動画編集をするのであれば、少しスペックの高いPCを用意する必要がありますので、予算に余裕がある人はぜひ検討してみてください。

### <h3>3.プログラミング</h3>

プログラミングは、**ソフトウェアやゲームなどの開発に携わる仕事**です。プログラミング自体は仕事の名前ではなく、コンピューターやデバイスに対して特定のタスクや機能を実行させるための一連の命令や手順を記述する行為のことを指します。

数年前からプログラマーが人気であり、現在もスキルを磨こうと勉強に励んでいる人が多いです。しかし、身に着けるスキルが多かったり難易度が高かったりすることから挫折もしやすいです。

挑戦する際は、稼げるようになるまでに時間がかかることを頭に入れておくようにしましょう。

## <h2>将来のことを考え副業に取り組む</h2>

副業を始める際は、**将来的にいくら稼ぐのかやキャリアのことを考えつつ、副業を選び実行する必要があります**。

もちろん、現在人気や簡単だからといった理由で仕事内容を選ぶのも1つの手です。しかし、せっかく貴重な時間を使って副業をするのであれば、自分の将来にプラスになるものを選ぶべきでしょう。

副業をするのであれば、将来的なことも考えつつ何をするのか決めて挑戦していただければと思います。